

サイエンスカフェ

トンボの目をマネできる！？～金型を使った生物模倣～ を開催いたします。

絵の具を霧状のしぶきにして、色を吹き付ける技術として使われている「スパッタリング」。科学技術の世界でも、モノに金属を吹き付ける技術としてスパッタリングがあることをご存じですか？

これまで吹き付ける対象は、高温に耐えられる素材に限られていましたが、産業技術総合研究所（産総研）の本村氏らの研究により、熱くなりすぎず、安全に生きものにも吹きつけられるスパッタリングが開発されました。この技術は、様々な分野への応用が期待されています。

今回のサイエンスカフェでは、開発チームメンバーの本村氏にスパッタリングの技術と今後の技術の応用についてお話いただき、絵具を使ったスパッタリング体験と、金属皮膜をまとった昆虫標本の顕微鏡観察を行います。ぜひご参加ください。



スパッタリングにより純金膜がついた
カブトムシの標本

もとむら たいせい
講師 **本村 大成 氏**
(国立研究開発法人
産業技術総合研究所
主任研究員)

【日時】 2025年5月31日(土) 14:00～15:30
【場所】 4階実験室2
【対象】 小学4年生以上(小学生は要保護者同伴)
【料金】 無料
【定員】 20名
【申込】 HPより事前申込制(抽選)
【申込受付】 2025年5月24日(土) 18:00まで

申込はこちら

<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/activity/2025/04/spattering.html>

〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館
担当：崎山、衛藤
電話：(092) 731-2525 (代表) FAX：(092) 731-2530
Mail：pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp
HP：<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp>